平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場会社名　藤田エンジニアリング株式会社　　上場取引所　大
コード番号　1770　URL　http://www.fujita-eng.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤田　実
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員　(氏名) 泉山　吉郎　TEL 027-361-1111

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,215	20.1	△31	―	△11	―	△149	―
23年3月期第1四半期	3,510	△0.2	△216	―	△202	―	△137	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　△144百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△180百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△13.36	―
23年3月期第1四半期	△12.27	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,570	8,047	51.7
23年3月期	18,773	8,281	44.1

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　8,047百万円　23年3月期　8,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	8.00	―	8.00	16.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		8.00	―	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,700	0.7	△200	―	△130	―	△100	―	△8.93
通期	22,500	△1.7	460	8.2	520	7.0	310	6.9	27.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	11,700,000 株	23年3月期	11,700,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	502,800 株	23年3月期	502,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	11,197,200 株	23年3月期1Q	11,197,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の発生により極めて深刻な打撃を受け、生産や輸出が減少し企業収益や設備投資の動向も鈍化する等厳しい状況となりました。震災後、サプライチェーンの立て直しや生産拠点の復旧など、一部に復興の兆しが見られるものの、電力供給不安や雇用環境、所得環境の悪化等、先行きの不透明感を払拭できないまま推移致しました。

このような状況のもと当社グループは、本年４月から３ヶ年の中期経営計画「Ｒａｓｈ－９０」をスタートさせ、全社を挙げて徹底的な意識改革を図り、新規領域事業の早期拡大、既存事業の収益力強化、人材の質的・量的拡充、経営管理の強化・徹底を基本方針に掲げ、新たな成長軌道の実現に向けて取組みを開始致しました。

当第１四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、前第１四半期連結累計期間より７億５百万円増加し42億15百万円（前年同四半期比20.1%の増加）、営業損失は31百万円（前年同四半期は営業損失２億16百万円）、経常損失は11百万円（前年同四半期は経常損失２億２百万円）、四半期純損失は１億49百万円（前年同四半期は四半期純損失１億37百万円）となりました。なお、当四半期において、過去に退任した役員に対する子会社からの慰労金の支給による役員退職慰労金１億88百万円を計上しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 建設事業

当社グループの主力事業である当事業におきましては、ビル設備工事で大型工事の受注は低調であったものの製造工場関連及び環境施設関連の受注は堅調であったため、受注高は17億89百万円（前年同四半期比6.9%の増加）となりました。部門別では、産業設備工事が７億12百万円（前年同四半期比37.0%の増加）、ビル設備工事が６億82百万円（前年同四半期比20.1%の減少）、環境設備工事が３億95百万円（前年同四半期比31.4%の増加）となりました。

売上高は、産業設備工事とビル設備工事で前期からの繰越工事の売上が寄与し、20億13百万円(前年同四半期比49.1%の増加)となりました。部門別では、産業設備工事が８億85百万円（前年同四半期比108.1%の増加）、ビル設備工事が７億42百万円(前年同四半期比39.4%の増加)、環境設備工事が３億85百万円（前年同四半期比1.8%の減少）となりました。

なお、当事業は通常の営業形態として、第４四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きいため、第４四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間に比べて高くなる季節的変動があります。

② 機器販売及び情報システム事業

当事業におきましては、情報システム関連は受託システム開発やネットワーク工事が減少したものの、機器販売は照明、トランスなどが増加したことにより、売上高は９億17百万円（前年同四半期比9.2%の増加）となりました。

③ 機器のメンテナンス事業

当事業におきましては、太陽光発電機器設置は前年並みで推移しましたが、設備機器メンテナンスは工事関連の受注が増加したため、売上高は11億39百万円（前年同四半期比2.5%の増加）となりました。

④ 電子部品製造事業

当事業におきましては、製造工程省力化装置製作の受注が増加しましたが、デジタル家電向け光デバイスなどの半導体関連部品の受注が減少したため、売上高は３億93百万円（前年同四半期比0.1%の減少）となりました。

⑤ その他

その他の事業の公共水道施設維持管理事業におきましては、運転管理受託体制や緊急対応体制を整備し、きめ細かな施設維持管理と顧客ニーズを捉えた提案活動を行った結果、売上高は61百万円（前年同四半期比10.4%の増加）となりました。

（注）１．上記売上高はセグメント間取引消去前の金額によっております。
２．上記金額には、消費税等は含まれておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ32億３百万円減少し155億70百万円となりました。これは主に現金預金が20億93百万円、完成工事未収入金が12億68百万円、売掛金が３億48百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ29億68百万円減少し、75億23百万円となりました。これは主に工事未払金が15億44百万円、支払手形が10億85百万円、買掛金が４億42百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ２億34百万円減少し80億47百万円となりました。これは主に四半期純損失を１億49百万円計上し、配当の支払を89百万円行ったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点において、平成23年５月13日に公表の数値から変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,206,907	3,113,190
受取手形	647,567	920,607
完成工事未収入金	4,363,085	3,094,446
売掛金	2,524,711	2,176,205
未成工事支出金	146,014	358,994
商品	109,552	153,911
仕掛品	337,319	325,754
材料貯蔵品	26,285	36,364
その他	350,258	345,878
貸倒引当金	△3,846	△937
流動資産合計	13,707,855	10,524,415
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,175,437	3,181,112
減価償却累計額	△1,926,282	△1,948,938
建物・構築物（純額）	1,249,154	1,232,174
土地	2,293,811	2,293,811
建設仮勘定	22,092	25,228
その他	636,701	638,134
減価償却累計額	△380,474	△401,068
その他（純額）	256,226	237,065
有形固定資産合計	3,821,285	3,788,280
無形固定資産		
のれん	208,689	201,236
その他	138,834	145,293
無形固定資産合計	347,523	346,529
投資その他の資産		
投資有価証券	528,851	539,670
その他	419,560	426,511
貸倒引当金	△51,678	△55,045
投資その他の資産合計	896,733	911,136
固定資産合計	5,065,542	5,045,946
資産合計	18,773,397	15,570,362

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形	3,808,891	2,723,269
工事未払金	2,265,056	720,416
買掛金	1,359,941	917,895
短期借入金	804,996	804,996
未払法人税等	128,925	30,601
未成工事受入金	236,220	300,262
完成工事補償引当金	10,300	10,300
賞与引当金	167,587	69,069
役員賞与引当金	8,000	－
その他	515,718	765,447
流動負債合計	9,305,637	6,342,258
固定負債		
長期借入金	176,412	165,163
退職給付引当金	759,746	778,547
役員退職慰労引当金	98,250	99,790
その他	151,799	137,534
固定負債合計	1,186,207	1,181,035
負債合計	10,491,845	7,523,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,029,213	1,029,213
資本剰余金	805,932	805,932
利益剰余金	6,616,572	6,377,435
自己株式	△213,872	△213,872
株主資本合計	8,237,845	7,998,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,707	48,360
その他の包括利益累計額合計	43,707	48,360
純資産合計	8,281,552	8,047,068
負債純資産合計	18,773,397	15,570,362

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	3,510,261	4,215,707
売上原価	3,122,862	3,636,071
売上総利益	387,398	579,636
販売費及び一般管理費		
従業員給料手当	274,345	290,094
賞与引当金繰入額	19,484	20,092
退職給付引当金繰入額	7,824	8,343
役員退職慰労引当金繰入額	1,280	2,046
のれん償却額	7,453	7,453
その他	293,611	283,079
販売費及び一般管理費合計	603,999	611,109
営業損失（△）	△216,600	△31,473
営業外収益		
受取利息	131	94
受取配当金	2,338	3,009
受取褒賞金	6,273	13,911
その他	9,708	12,922
営業外収益合計	18,452	29,938
営業外費用		
支払利息	2,901	2,754
貸倒引当金繰入額	－	6,821
その他	1,021	113
営業外費用合計	3,922	9,688
経常損失（△）	△202,070	△11,223
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,468	－
特別利益合計	3,468	－
特別損失		
役員退職慰労金	－	188,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,258	－
特別損失合計	6,258	188,000
税金等調整前四半期純損失（△）	△204,860	△199,223
法人税、住民税及び事業税	33,390	29,161
法人税等調整額	△100,844	△78,825
法人税等合計	△67,453	△49,664
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△137,406	△149,559
四半期純損失（△）	△137,406	△149,559

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△137,406	△149,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,105	4,653
その他の包括利益合計	△43,105	4,653
四半期包括利益	△180,512	△144,906
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△180,512	△144,906
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。